

会 議 録

内容承認	公開・ 非公開	＜開催日＞令和5年1月27日（金）	＜傍聴人数＞ 2名
森下会長 東委員 寺内委員		＜時 間＞14:00～16:00	＜傍聴室＞
承認		＜場 所＞岸和田市役所新館 4階 第1委員会室	岸和田市役所新館 4階 第1委員会室

＜名称＞ 第28回（令和4年度第3回）岸和田市子ども・子育て会議

＜出席者＞

（岸和田市子ども・子育て会議委員出欠状況）○は出席、■は欠席

森下	東	池住	寺内	阪口	高松	中川(麗)	中川(勉)	新田
○	○	○	○	○	○	○	○	○
長谷川	網代	藪	撫養	松永	阪本	梅崎	茂野	
○	■	○	○	○	■	○	○	

（事務局）

大西子ども家庭応援部長、藤浪教育総務部長、山本保健部長、片山学校教育部長
 牟田生涯学習部長、鈴木子育て支援課長、青田子ども家庭課長、溝端子育て施設
 課長、津田こども園推進課長、山田健康推進課長、井上総務課長、松本学校教育
 課長、井出生涯学習課長 他

＜議題等＞

1 開会

2 議題

- （1）第2期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し（最終稿）
について
- （2）子育て支援に関する意見交換
- （3）その他

<概要>

- 開会
- 議題（１）について事務局から説明
- 事務局の説明を受け、質疑・応答
- 議題（２）について委員による意見交換
- 議題（３）について事務局から報告
- 閉会

■署名委員指名

【議 長】

まず、本会議の署名委員として、寺内委員と東委員を指名いたします。よろしく
お願いします。

■議題（１）第２期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し（最終稿）
について

【議 長】

それでは、次第に従いまして、「２ 議題（１）第２期岸和田市子ども・子育て支
援事業計画の中間見直し（最終稿）について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、議題（１）第２期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し
案の（最終稿）について、私の方から一括して説明いたします。前回の会議でお示
しました中間見直し（案）から、委員の皆様からご指摘等いただいた箇所につい
て、一部加筆、修正した中間見直し案の（最終版）を作成いたしましたので、前回
から変更となった箇所をご説明いたします。

それでは、お手元の第２期 岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し
（案）をご覧ください。

まず１点目ですがP9をご覧ください。

第３章 教育・保育等の中間年の見直しについての（１）教育・保育（幼稚園）に
ついての確保方針の表記方法を年度別の表へ修正いたしました。

前回、ご指摘のありました新規設置や定員設置等がどこの圏域にどの程度変更があ
ったかわからないとのご指摘がありましたので、このように修正いたしました。

次にP12をご覧ください。同じく（２）教育・保育（保育所等）についても同
様に修正いたしました。

次に２点目ですがP15をご覧ください。

第４章 地域子ども・子育て支援事業の中間年の見直しについての部分にあります

13 事業の表中にあります左側の項番を、P16 以降の見直しを実施する事業のタイトルの後ろに、《○事業の項番》を付けて表記を見やすくいたしました。

続きまして3点目P18をご覧ください。

前回事務局からの説明時に訂正を行いました子育て短期支援事業（ショートステイ）の算出方法の文中にある「件」を「人日」へ修正いたしました。

次に4点目P21をご覧ください。

前回の会議に委員の方から、妊婦健康診査事業の多胎妊娠についてのご意見がありました。

今回、妊婦健康診査事業—《11》の後段に「※本事業に加え、令和4年度からは多胎妊娠に対して、5回を上限に健康診査費用を助成しています。」の文言を追加いたしました。

次に5点目ですが、総ページ数が今回の修正に伴い1ページ増え、P22からP23となりました。

最後に、5か所の加筆・修正等に伴い、P1にあります目次欄の修正を行いました。説明は以上となります。

【議 長】

ありがとうございました。ただ今、事務局より「議題（1）第2期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し案（最終稿）について」説明がありました。委員の皆様からご意見・ご質問等がございましたらお願いいたします。

【委 員】

確認ですが、前回の会議でP22の（10）実費徴収に伴う補足給付事業で、委員より申請されて支給されるのか、認定されていたら自動に支給されるのかという質問があったと思いますが、その答えをもう一度お願いします。

【議 長】

ありがとうございます。再度事務局の方からお願いします。

【事務局】

対象の方の申請に基づいての給付となっております。申請者につきましては、リストで把握できますので、子育て施設課より申請書を送付しております。

詳しくは、お手元にあります前回の会議録のP5に書いております。説明は以上です。

【議 長】

よろしいでしょうか。他にご意見・ご質問等はありませんか。

【委員】

前回から、P12 の確保方針の表記方法が分かり易くなって良かったのですが、この2期計画において、待機児童、未入所児童の解消を目標にしており、再編方針に伴って見直しを提案されていると思いますが、私がこの間言っているのは、地域ごとに過不足なく施設を利用できる体制については、改善されなく過不足が続いている。市の説明では、市域全体で確保できていれば問題ないとの回答であった。

生まれる子どもの数が減っているにもかかわらず、1歳、2歳の待機がずっと出ている中で、3歳児の保育室を振り替えたりするなどして、待機解消に向けてもう少し議論の余地はないのか。市の考えをお聞きしたい。

【議長】

ありがとうございました。事務局よろしくお願いいたします。

【事務局】

0歳、3歳は比較的に余裕があって1歳、2歳に待機があることについて、入所調整を行っている立場からは、公立園だけで難しいところを、民間園へ定員枠の拡大をお願いしております。決して放置しているわけではなく、公立園で定員の円滑化により定員枠の拡大を考えてはいるのですが、全国的な保育士不足による確保が難しいのが現状です。前回の会議録P4にも前回と同様なお質問に対しての答弁をお答えしたとおりです。

(前回の答弁：第2期計画外となりますが、「第3期子ども子育て支援事業計画」期間の令和7年度に予定しております再編におきまして、定員の拡大を予定しております。令和6年度までの計画には反映されておきませんが、確保量の見直しによって待機児童の解消に努めたいと考えております。)

【議長】

ありがとうございました。

【委員】

令和6年度において、過不足は解消され、待機児童がなくなる予定と理解している。ここ数年、施設確保数は増えてきているが、待機児童や未入所児童がそれほど激減していないことが問題と感じている。令和2年度から4年度の待機児童、未入所児童の数と、令和5年度の申し込み状況についてお聞きしたい。

【議長】

ありがとうございました。事務局よろしくお願いいたします。

【事務局】

現在入所の調整を行っている状況です。2月早々には結果通知できるよう作業中です。この後、2次選考3次選考を行いますので、1次選考も含めて正確な数字は出ておりません。ちなみに令和4年度の継続者も含めた申請者数が4,300名程度でした。令和5年度も前回と比べて50名から60名程度増えています。

【議長】

ありがとうございました。他にありませんか。

【委員】

13事業の中で見直しがされていない事業があると思いますが、見直し（案）の中で、どのような表記になるのか教えてください。

【議長】

それでは、事務局お願いします。

【事務局】

今回の中間見直し（案）は、第2期計画から変更があった箇所のみとなっております。前回の会議でもお答えしたように、見直しを行わない事業、例えば「9の病児保育事業」につきましては、現行の計画で令和5年度、6年度引き続き実施していきます。そのため、見直し箇所のみ抜粋したものとなりますのでご理解ください。

【委員】

中間見直し（案）には載ってこないという事ですか。

【議長】

2期の冊子には既に掲載されていますので、載ってこないです。
他にありませんか。

【委員】

前回の会議の時に、病児保育の新しいパンフレットが配られましたが、変更はないのですか。

【議長】

それでは、事務局お願いします。

【事務局】

病児保育事業ですが、第 2 期計画に載っている数字全体からは変更はありません。当初は 3 か所で開設しておりましたが、途中で 1 か所が事業から撤退しました。一時的に 2 か所となっておりますが、今回新たに 12 月から開設されましたので、変更はなしとなっております。

【議 長】

ありがとうございました。それでは、中間見直し（素案）は、このような形で了承いただくということよろしいでしょうか。

委員了承

【議 長】

ありがとうございました。それでは、議題 1「第 2 期岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し（最終稿）」は以上とさせていただきます。

■議題（2）について委員による子育て支援に関する意見交換

（注）委員の方々の自由な意見交換の場でのご発言（要約）ですので、発言内容に対して事務局からの正否に関する応答は行っておりませんので申し添えます。

【議 長】

続きまして、議題 2「子育て支援に関する意見交換」として、委員の皆様同士の意見交換の場とさせていただきます。

まず、参考資料としまして熊取町の子ども・子育て支援事業計画をご紹介します。その後、皆様のご意見を頂きたいと思えます。

熊取町の子ども・子育て会議にも、私は関わらせてもらっておりまして、岸和田市とは人口等規模も違いますが、民間でやっている事業もこの計画に盛り込まれています。例えば、参考資料の P8 の熊取町の教育・子育て応援施策の中で、図書館のホームスタート事業、岸和田市も実施されているとは思いますが、各園がどの程度預かり保育を実施しているかなど具体性あると思えました。岸和田市も色々な取り組みを行っていると思えますが計画に載っていないことが少し気になりましたので、参考まで見てもらおうと思えました。また、3 期計画を策定するにあたって、誰に見てもらうかをイメージする必要があるのではないかと。市民に見てもらうには、現計画は少し難しいのではないかと感じました。この計画に載っていないが、岸和田市ではそれ以外にも行っている取り組みについて、日頃子育て支援に携わっている委員の皆様のご意見について頂き、次回の計画に反映できるものや反映でき

ないものがあるかもしれませんが、委員の皆様の色々な想いをお聞きしたいと思しますので、ざっくばらんなご意見をお願いします。

例えば、地域で行っている活動の紹介や地域で困っていることなど何かありませんか。

【委員】

子育て支援センターさくらだいで、第2期計画の冊子のP38にある地域子育て支援拠点事業を行っており、平成30年度実施量は、民間園の2か所で8,668人でした。令和4年度現時点、子育て支援センターさくらだい1か所で延べ6,057人が利用されており、今年度は延べ7,000人の利用を見込んでいます。

また、来年度の利用は9,786人を見込んでおり、当日キャンセル等で最終8,348人と予測しています。

コロナ禍においても、地域には、これだけの数の未入所児の親子が行き場を求めていると感じました。また、保育園や幼稚園に入る前に、同年代のお友達と関わらせてあげたいとあって、子育てに不安を抱えている親御さんが多く、SNSで情報を得ることにより、余計にしんどくなっている方が増えている。行きたい時に気軽に相談できる場が必要だと感じました。

【議長】

地域の实情についてお話いただきました。ありがとうございます。コロナ以降に生まれた子どもさんへの子育てには色々な不安があったと思います。未就園児がセンターへ来られると思いますが、親御さんにとっては、安心できる場であり、子育ての不安を取り除ける場の一つであると思います。他にありませんか。

【委員】

熊取町の概要版を拝見したところ、岸和田市では「みんなでこそだて」がそれに当たるのではないかと思います。

民生委員で「こんにちは赤ちゃん訪問」を行っている時に、子育ての情報をお伝えしています。各地域で子育てサロンがボランティアや民間でも行われており、八木市民センターでクリスマス会を開催した時は、多くの参加者が来られました。

【議長】

ありがとうございました。他にありますか。

【委員】

岸和田市は、地域での子育てサロンや公民館でのサロンがあり、山手方面には子育て支援センターさくらだいがあります。浜手方面には、地域の公民館などへ子育て支援センターさくらだいが出張してくれています。民間の子育て支援センターも

山手方面にあるため、浜手方面が少し不足しているかなと思い、岸和田駅前でも親子広場を行っています。

コロナ禍のため、どこも閉まってしまいましたが、私たちは、感染予防対策を講じた上で、集まりの場を開けました。その時に、家でずっと居ているのはしんどいという方もいました。SNS を通じて子育て支援に関する情報を発信してそれを見て来ましたという方もいました。その中で見えてきた課題は、子育てサロンへ行けずに、一人で孤立した子育てしている親御さんがいることでした。熊取町はトップダウンでホームスタート事業を開始したと聞いていますが、横のつながりで情報共有して、私たちもホームスタートを行っています。赤ちゃん訪問時にホームスタートのリーフレットを入れてもらったり、保健師さんと一緒に訪問したりしています。ホームスタートには、ホームビジターというボランティアさん向けに養成講座を実施し、保育士さんや保健師さんに岸和田の現状を話してもらっています。親御さん同士で一緒に何かしようということで災害があった時のために「岸和田親子防災部」をつくることにより、お互いに学びながら次世代に繋げる活動を行っています。

【議 長】

ありがとうございます。地域でのつながりのお話を聞けたと思います。特に未就園児の親御さんの情報を頂いておりますが、そのあたりで他にありませんか。

【委 員】

この会議では、待機児童の件も大事だが、このような地域の取り組みを市の施策として支えてくれるような拠点づくりなどをこの場で一緒に議論すると思っていた。親御さんが通いやすい場所に保育所等を造るとか、保育所や幼稚園が協力したり、岸和田の良いところは、小学校に一園あり、就学前の子どもたちが通えるところです。統廃合により、今までの岸和田の良さを減らす部分が多いと感じる。

【議 長】

ありがとうございます。他にありませんか。

【委 員】

幼稚園でも週2回給食が始まったと耳にして、試行実施なのか本格実施かわかりませんが、親御さんの負担が減るという点では良いことだと思う。子どもの数が減っていく中で、先程の話の中でもあったように、岸和田は小学校と幼稚園が併設されているところで、小学校の給食を幼稚園に配膳したら良いと簡単に物事が解決するのではないかと単純に思ってしまうが、出来ない理由があるからやれていないとは感じる。給食は食育なので、幼稚園で今まで食べなかった物をみんなが食べて

いるから自分も食べ始めたりして、栄養に繋がっている。これが広がっていけば良いと思う。

先程妊産婦のタクシー券の話がありましたが、他市では、タクシーの補助券を出している。例えば、支援センターに行くにも交通手段がない時に使用できるチケットがあれば良い。市が独自で出来ることでもある。

【委員】

岸和田市も用途に限りがありますが、タクシー券は出ています。

【議長】

ありがとうございます。他にありませんか。

【委員】

私は、学校保健会やウェルエージング岸和田など健康をテーマに参加しております。この会議を通じて、学校保健の事や岸和田市全体の健康のことについても考える必要があると思います。

是非ともこの会議が、学校等にも繋がっていくような会議の場にしていった方が良いと思います。

【議長】

ありがとうございます。他にありませんか。

【委員】

学童保育の保護者として参加していますが、小学生になってしまうと子育て支援の枠から外れてしまうように感じる。子どもが小さい時は、色々大変だった経験をしましたが、小学生になったからといって、まだ幼さも残るし親との関わりが必要な時期である。何となく子どもが小学生になったら、親に対する支援が減るように感じる。子どもの成長とともに悩みや課題も変わるため、親が子育てに関する悩みを相談できる場が必要であり、お金の支援も大事だが、成人年齢の18歳までは子どもなので切れ目のない子育て支援が必要と感じる。

【議長】

ありがとうございます。他にありませんか。

【委員】

去年の11月から市の委託を受けて、「女性のためのつながりサポート」を行っています。小中学生の親御さんからの相談もあり、支援できるサービスへの案内や

傾聴を行っています。突然ふらっと相談に来られる親御さんも中にはいます。

そのほかにも、きしわだフードパントリーを行っていて、食堂支援も行っています。ひとり親の家庭から連絡があったりと繋がりがあります。NPO なので出来ることは限られているが、支援は必要と感じながら取り組んでいます。

【議 長】

ありがとうございます。他にありませんか。

【委 員】

熊取町の小学校には、5名のスクールソーシャルワーカーがいると概要版には書かれていますが、岸和田市は6名しか配置されていない。親にも相談できない事など聞いてもらえる場所が必要と感じる。予算の関係もあるが、人員を増やして欲しいです。

【議 長】

ありがとうございます。他にありませんか。

【委 員】

先程、お弁当の話がありましたので、給食費について、民間幼稚園は新制度を利用して私学助成制度を利用しています。所得制限がありますが、副食費については、一部補助があります。何かと所得制限を設けることについて、国の制度なのでどうにかならないのか、その部分を岸和田市で負担できないのかと感じました。

もう一つは、未就園児に対する取組みですが、当日何人来るか分からないなど人員配置が難しく取り組めていないため、行政からの支援（空き部屋の提供や周知活動）があれば有難いです。

また、子育てに疲れていて養育が困難になった親御さんのための子育て短期支援事業（ショートステイ）は、とても良いと事業と思います。このような事業を多くの方に知ってもらえるように周知して欲しいです。

【議 長】

ありがとうございます。他にありませんか。

【委 員】

私は、子育て支援部会からのこの会議に出席しています。日頃は、民間の相談機関の児童家庭支援センター岸和田で勤務しています。色々な発達障害の相談や虐待支援も行っています。この会議では、就学前のお子さんの話がメインとなっていますが、小学校以上のお子さんの悩みについても、実際の岸和田の状況がどうなって

いるかなど今後周知していただきたいです。

岸和田市は不登校の割合が多く、市内には適応指導教室が1箇所しかなく、大きな市町村では、2、3箇所とあります。また、国の方から支援学級を減らそうという動きのため、いわゆるグレーゾーンのお子さんが通常学級に戻ってほしいという流れになっている。通級学級を勧められますが、岸和田市内の小中学校には、全てに通級学級がありません。自分の学校に無ければ違う学校に行かなければならぬと聞いています。

小学校以上の保護者の方が相談できる場が、学校しかないと聞いていますので、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの数を増やすなどを協議できていければと思います。

【議長】

ありがとうございます。他にありませんか。

【委員】

現役を退いて、当時の状況とは違いますが、中学校にスクールカウンセラーが来られた時はよく利用しました。現状は色々と先生方も大変なので、専門的な人を利用できるようにしたらよいと思う。岸和田は、不登校が多いですが、気軽に相談できないと思うので、色々と工夫した取り組みをお願いしたいです。

【議長】

ありがとうございます。そろそろ時間となりますので、最後にありませんか。

【委員】

岸和田市も、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの予算を増やしてくれているので、学校現場としては助かっています。まだ十分ではないので、引き続きお願いをしています。また、決められた教員の数では、不足していますし、専門の知識を持った方の助言等は本当に有難いので引き続き予算措置をお願いしたいです。

【議長】

ありがとうございます。色々な情報を共有できた時間であったと思います。4月から子ども家庭庁が設立されて、色々な事が大きく変わっていくこと、たくさんご意見いただきました。0歳から18歳までの切れ目のない支援が、今後求められていくと思います。またこの会議で、前回にもありましたが量の方は充実してきていますので、今後は質の充実にも議論したいと思います。今日のような意見交換により地域での取り組み等が繋がっていくと思います。

■議題（3）その他について

【事務局】

その他の時間をお借りしまして、先程の意見交換の場で、小中学校へのご意見ありがとうございました。小中学校には色々な課題がありますが教育委員会としましても、多くの施策をおこなっております。スクールソーシャルワーカーのお話がありましたが、岸和田市は大阪府内でも先駆けてスクールソーシャルワーカーを配置しました。また6名のスクールソーシャルワーカーの方の時間数ですが、おそらく他市町さんよりもたくさんの時間で週2回3回と対応してもらっています。ただ、引き続きスクールソーシャルワーカーの活動する時間を拡充するために、検討してまいります。

もちろんスクールカウンセラーも市費により拡充に努めております。また、他市にはないスクールロイヤーといえます弁護士を配置しております。

適応指導教室も先程ありましたが、確かに1箇所しかありませんが、これも大阪府内で先駆けて設置しました。そのため、他の市町村から視察も来ている状況です。ただ、仰るように場所が少し不便なところにありますので、可能かどうかも含めて設置場所等について検討しております。

学校の先生が相談で手いっぱいの状態の中で、毎日夜遅くまで教育委員会の方にも相談が入っています。その都度その都度丁寧に対応しておりますが、専門家の方々の力も必要なため予算措置するように取り組んでいます。

まずは、子どもたちが過ごしやすい教育現場を考えて、保護者の方々の子どもを育てやすい環境を考えながら取り組んでまいります。

その他のお時間をお借りしまして今の学校現場の現状をお伝えさせていただきました。

【事務局】

7月29日の書面会議の時に、市立保育所のICT化（業務支援システム）導入の報告を行いました。昨日1月26日からこのシステムの運用が開始となりました。お子さんや保護者の安心・安全な保育が提供できるように、また利便の向上と、まずは、登校園の管理からスタートしまして昨日今日と順調に稼働しております。従来までの手書きの出欠表より見やすいものとなっています。今後は、保護者の利便性や保育士の業務負担軽減、さらに子育て支援に関するデータの連携等についても研究を重ねてまいります。

【事務局】

まず1点目は、中間見直しの今後の流れについてです。

中間見直し（素案）について、ご意見いただきありがとうございました。今後の

流れといたしましては、2月にこの素案を庁内で諮り、3月中に「第2期 岸和田市子ども・子育て支援事業計画の中間見直し」として市ホームページに掲載する予定です。あわせて、最終的な中間見直しとして委員の皆様へ郵送にてお示しすることとさせていただきます。委員の皆様には、ご協議いただきまして、ありがとうございました。

2点目は、次回の「第29回岸和田市子ども・子育て会議」についてですが、6月又は7月の開催を考えております。委員の皆様へは、正式な日時が決まりましたらご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、令和5年度の全体のスケジュールですが、第3期計画策定作業に伴う市民アンケートを実施するほか、次回の会議を含めまして4回程度開催する予定となっております。その節は、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、傍聴の方へお知らせいたします。本日の資料については、会議終了後回収いたしますので、お持ちかえりにならないようお願いいたします。

3月末までに本日の会議録を含めまして、本日の資料も併せて市ホームページへ掲載する予定です。事務局からは、以上です。

【議 長】

ありがとうございます。以上で本日予定していた議案は全て終わりました。委員の皆さんのご協力、ありがとうございました。

これを持ちまして、第28回岸和田市子ども・子育て会議を閉会といたします。ありがとうございました。